

街地にある陸上自衛隊帯広駐屯地内の十勝飛行場をオスプレイの給油・整備を行う補給拠点とすることも発表しました。

私たちちは北海道の平和と軍縮を進め、さらに北方領土問題の解決を強く願う立場から、隣国ロシアを刺激し、領土問題の解決と、いう私たちの悲願を大きく後退させかねない日米共同訓練の整理縮小とオスプレイ参加について、北海道庁や関係自治体への申し入れ、総決起集会の開催など、なし崩し実施を許さず連合一丸となつて反対を強めていく必要があります。

もあり、今年は札幌市民防災センターを見学しました。災害バー チャル体験では土砂災害や都市型水害について3D映像による体験をし、地震体験では震度7、暴風体験では風速30メートルの貴重な体験をしました。

さまざまなかたちを通じて、防災に対する意識を高め、改めて災害の恐ろしさを肌で感



この後、恐怖体験が参加者を襲う…

帯広市街地に補給拠点

防衛省は8月23日、陸上自衛隊と米海兵隊が9月10～29日まで北海道大演習場、矢臼別、上富良野の各演習場で実施する日米共同訓練の概要を発表し、日米合わせ約2千7百人の人員参加と「MV-22オスプレイ」の参加について公表し、さらに、3演習場の中心に位置し帯広市市

では、①飛行高度は地上1
50メートル以上②人口
密集地上空は避ける③ヘ
リモードは基地内に限る、
などの運用に関する合意
がなされているものの、才
スプレイが普天間基地に
配備された当初からなし
崩しとなつており、また、
昨年の訓練では沖縄県外
では初となる夜間訓練が
実施されるなど、住民の不
安の声が高まっています。

自然災害への備えが大事！ 女性委員会レクリエーション開催

札幌市民防災センターおよびビール工場見学

北海道地域最低賃金25円の 引き上げ、835円で結審！



8月6日労働局前集会賃金大幅引き上げを求める訴え!

らす、働いて得た賃金で家族と共に生活し、将来展望を描くことができる社会実現に向けて、大幅な引き上げを強く求めました。これに対し使用者側は、中賃目安は合理的な数値根拠に基づくものではなく、政府の意向によるものとして、北海道の実態や特性に配慮した審議と額の提示に固執しました。労使譲らない激しい審議が続く中、最終的に使用者側が反対したものの、公益・労働者側の賛成多数により結審しました。

20円以上の上げ幅が3年連続で実現することになりましたが、全国平均との差は39円と縮まらないままです。最低賃金ぎりぎりで働く労働者からは「生活の苦しさは麥わらない」と切実な声が寄せられており、早期の「最賃1,000円」の実現が必要不可欠です。引き続き連合は改正された最低賃金の周知と履行確保、法令遵守、更に政府による中小企業への支援対策拡充を求めます。地域の一体的な取り組みを進めましょう。



連合北海道札幌地区連合会ホームページ
<http://hokkaido.ituc-rengo.jp/spk-chiku/>

QRコードで速報をチェック!

平和な社会を後世につなげるために! ×集団的自衛権、行使反対× ×安保関連法、共謀罪の廃止を× 連合北海道札幌地区連合会

